



はぐ便り

2019年
11月号
【第70号】

先日、あるお店の中を回っていましたが、小学生向けの勉強机やランドセルがずらりと並べられていました。間もなく小学校入学を迎えるお子様をお持ちのご家庭では、わくわくした気持ちで新入学用品の準備に取り掛かっているのではないのでしょうか😊

さて、小学校に入学するに当たり、それぞれの入学先の学校で、説明会が予定されていることと思います。入学前の心構えや通学方法など、大事な情報収集の機会となりますので、積極的にご参加ください。説明される内容は、各学校によって特色がありますが、はぐ便り7月号で紹介した生活リズムについても話題になるかと思いますが、「早寝早起き朝ごはん」は、ぜひ習慣化させたいものです。そのほか話題になりそうなことを取り上げてみます！

まず、**コミュニケーション**についてです。お子様は、「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつをきちんとすることができますか？呼ばれたら「はい！」と大きな声で返事ができますか？「私(僕)は、〇〇です」と自分の名前が言えますか？お子様にもそれぞれ個性があるので、大きな声を出すのが苦手な場合もあります。それでも、声をかけてくれた相手を見てうなずいたり、手を振ったり、聞こえていますよ、と合図をすることで、人間関係は深まっていきます。学校生活は、集団で社会性を養う場です。今はできなかったとしても、少しずつ成長し、半年後、1年後にできるようにしていきましょう。また、学校生活でふれあう「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」「先生」の話聞く耳を持つ子どもに育てたいですね。そのためには、親が子どもの話を聞いてあげることが大切です。1日24時間のうちのほんのひととき、その子だけに向き合う時間をつくってあげてください♡

また、**交通安全**についても多くの学校で話題になります。特に、歩行者としてデビューする通学については、親が付き添って練習をする必要があります。「政府公報オンライン」によると、小学1年生の歩行中の交通事故の死者・重傷者は、6年生の約3.6倍で、学年別でも1年生が最も多いという特徴があるそうです。かけがえのない命を守るため、親としてできることは何でしょうか？それは、通学路や公園など子どもの行動範囲を一緒に歩きながら、繰り返し交通ルールや安全な歩き方を身につけさせることです。

POINT



① 安全な横断の仕方を教える。

- ・横断歩道や信号機が近くにある時は、そこまで行くこと。
- ・横断する前に必ず立ち止まること。
- ・信号が青であっても、必ず左右を見ること。

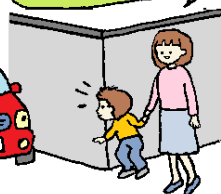
② 子どもの目線で確認して教える。

- ・交差点では、左右から来る自動車があることを教え、青になってもすぐに渡らず、自動車が止まってから渡ること。
- ・見通しの悪い交差点や曲がり角、車や看板で左右が見えないときは先にのぞいてみる動作を教えましょう。

小学1年生の歩行者の交通事故は「横断中」に多く起きているそうです。

大人であれば遠くまで見通せる場所でも、子どもの目の高さでは見通せないことがあります。

止まって、少しのぞいて見てみてね！



今回は、入学前の説明会でというコンセプトでお話を進めました。実はどれをとっても短期間で身につくものではありません。お子様が何歳であっても、家庭で身につけておくことは何かを豆皿に入れ、お子様に経験を経ませていくことが大事ではないでしょうか😊



困ります。急な申告「ノートがない」



そういえばもうノートなくなったよー！

早めに言ってるでしょー！

